

色文字はL・Tの活動内容

事前準備

しおりの作成
L・Tお揃いの名刺の作成

6月16日 曇り時々雨

茶約の銘カード作業参加
開会式リハーサル参加
名刺仕上げ作業
「福住(焼鳥)にて決起集会
意気込みなどを一言ずつ
自主研修アンケート、意見交換
呈茶委員会による呈茶
内藤さんお手製うさぎのお菓子

6月17日 晴れ時々曇り

10時 L・T受付、オリエンテーション
総本部中田様から挨拶、事務連絡
総本部野口様から挨拶、激励
受付時配布資料、名札の準備
13時 一般参加者受付
呈茶(いわき支部・青年部)
お土産 いわき銘菓
「じゃんがら」
チャリテイ展観
ご宗家、僧侶方、工芸作家の方々、企業などからの寄贈品展観
受付、会場内の監視、引渡し補助

15時半 お茶湯の儀・開会式

来賓受付
裏千家の復興支援活動紹介
支援に対する御礼のご挨拶
(山本嘉子東北ブロック長)
御家元ご挨拶
小川実行委員長ご挨拶
鈴木副知事・清水市長より
来賓ご挨拶

安倍晋三内閣総理大臣よりメッセージ
御家元から鈴木副知事へ目録贈呈
チャリテイ展観の益金を「いわきの学び希望基金」
東日本大震災みやぎこども育英募金・東日本大震災ふくしまこども寄附金」
寄贈

ブロック紹介
御家元ご講演
開会式補助(舞台設営、誘導)
マイクランナー

18時半 懇親立食夕食会

地元食材、郷土料理
(メヒカリの唐揚げ、うに貝焼きなど)が目玉
千容子奥様の挨拶
「じゃんがら念仏踊り」披露
「茶約交換プロジェクト」
竹取物語」の
茶約交換
御家元へ還暦ハースデーケーキ
サプライズ
福引
進行補助・記念品
配布(大堀相馬焼、走り駒の茶碗)

20時半 コース①グループのみミーティング

6月18日 晴れ

8時 コース別研修
①復興公営住宅訪問・呈茶
②語り部さんに聞く「久之浜地区の震災と復興」
ワンダーアーム見学
③スハリゾート
ハワイアンズから見た震災
④講演会「少庵居士と会津若松」
谷端昭夫 裏千家学園講師
⑤陶芸体験「相馬焼」 大堀相馬焼窯元
近藤学講師
⑥素の蒔絵体験「会津塗」
白木屋漆器店 高瀬淳講師

⑦絵付け体験「伝統民芸「三春駒」
彦治民芸 橋本高宜講師
⑧伝統工芸「遠野和紙」
紙漉きと竹細工の体験
⑨いわきの自然文化に触れる
ほたる(いわき市石炭・化石館)と国宝
⑩「白水阿弥陀堂」の見学
⑪アクア美術館「ふくしま」
見学
⑫いわきから「ミユウ」の震災復興と小名浜湾をめぐるティークルーズ
グループフリーダー補助
記録用カメラ係

13時半 コース別研修「報告会グループ⑧代表者として田森さんが発表
14時 JICから世界の支援へ向けて、復興プロモーションVTR
15時 御家元対談
御家元と坂田敦志氏
(会津青年会議所シニア・NPO法人ハッピーロード
ネット理事)による対談
コーディネーター:
福井正興第4部会長

16時半 敬史様、万紀子様と座談会
コーディネーター:
松井千賀子第5部会長
金ヶ崎政伸実行委員

15時 閉会式
NCC活動紹介映像
御家元ご挨拶
奥山第6部会長から謝辞
プログラムを振り返る映像
いわき青年部
多賀裕子さんから
未来へのメッセージ
閉会
実行委員、L・T出向員、

16時半 閉会式

15時半 敬史様、万紀子様と座談会
コーディネーター:
松井千賀子第5部会長
金ヶ崎政伸実行委員

16時半 閉会式
NCC活動紹介映像
御家元ご挨拶
奥山第6部会長から謝辞
プログラムを振り返る映像
いわき青年部
多賀裕子さんから
未来へのメッセージ
閉会
実行委員、L・T出向員、

16時半 閉会式
NCC活動紹介映像
御家元ご挨拶
奥山第6部会長から謝辞
プログラムを振り返る映像
いわき青年部
多賀裕子さんから
未来へのメッセージ
閉会
実行委員、L・T出向員、



18時 実行委員会主催 懇親会
フラダンスショー
各ブロックPR紹介
実行委員から
抽選により景品贈呈
御家元からサプライズ抽選
進行補助
20時 ブロック毎に
御家元と記念撮影
実行委員会主催 懇親会
フラダンスショー
各ブロックPR紹介
実行委員から
抽選により景品贈呈
御家元からサプライズ抽選
進行補助

6月19日 晴れ
9時 オブショナル茶会
今日庵席(濃茶席)
全国委員会席(薄茶席)
東北ブロック席(薄茶席)
今日庵席お手伝い
(お運び、菓子の盛付け等)
14時 L・T終礼
総本部中田様からご挨拶
事務連絡
総本部長谷川様からご挨拶

14時 L・T終礼
総本部中田様からご挨拶
事務連絡
総本部長谷川様からご挨拶

抜け落ちが多々ございます
お詫び申し上げます



学んだこと

今回初めて全国規模の青年部行事に参加しました。親先生の行事とはまた違う若い情熱に触れ、人の心を動かすのはやはり人の気持ちなのだということを感じ、一生懸命物事に向かいその姿を隠さず見てもらうことの大切さを学びました。ナショナルのLTお手伝いについて、変わり続ける状況の中で、臨機応変に動くためには常に周りの行動に目を向け予測して動かなければいけないということを経験を持って学びました。

役割が直前に変更になっても瞬時に判断して行動することの大変さと大切さ。実行委員の先輩方と活動させて頂いたことで、主催者側のスタッフとしてどう動くべきかなどを常に意識して行動することが大切であるということ。

いつも笑顔を保ち、自身の役割をしっかりとこなされるとともに、周囲のメンバーへサポートもきめ細やかにしてくださった実行委員の先輩方の姿勢にリーダーのあるべき姿を学びました。

「苦労をまず学んでみる、その苦労は必ず自分の財産になる」、大変なことは目をそむけず進んで行おうという気持ちになりました。

オプショナルを通して、いわきについて知ることができた。今日庵席の見事な水屋崩き！茶会では、お菓子の盛り付け方や、運びの要領を教わりました。

今日庵席での水屋の様子やお運びの様子。会場やお茶席では自由な発想で設えが考えられており、自分の所属する青年部においてお茶席の趣向を考えるうえでとても良い刺激になりました。

嬉しかったこと

御家元様、ご宗家の皆さま、業跡先生がおみえになれる今日庵席のお水屋に、実行委員の先輩方と共に入らせていただいたこと。御家元の気配りに感動し、また昔

段は垣間見ることができない業跡先生たちの働きを直に拝見できたことは本当に貴重な体験でした。やはり基礎が大切と気づかされた。

茶巾落としを運び出す位置に困っていた際、お家元が直々に説明してくださったことがとても嬉しく一生の思い出になりました。

御家元やご宗家の皆様と、懇親会含め三日間一緒に過ごせたこと。

敬史様、方紀子様と写真を撮って頂きました。復興公園団地での呈茶で被災された方々と交流でき、喜んでいただけたこと。最後はバスが見えなくなるまで見送って下さった。こんなにありがたいことはない。

全国の青年部会員の皆さんとブロックを越えた交流ができたこと。

地元青年部やブロックの仲間との結束力がより強まったこと。

LTの仲間と一緒に力を合わせて大きな行事のお手伝いできたこと。

茶約交換交流プロジェクトで各地にそれぞれ新たなご縁や友情が芽生えたこと。

自分の削ったお茶約を受けとった方から後日メールが届き、お茶会に使っていたお茶約の連絡をいただきました。初めて削ったお茶約がたまたま手元に置いておきた気が持ちが少なからずありましたが、遠い地で大切に使用していただいていることが分かります。

とても感動しました。

コース別研修で同じ班だった方から、「29期LTを見て自分もLTに参加してみたい」と思いました」と、NCの後でメールが届き、とても嬉しかったです。

いわきのじやんがら念仏踊りを拝見させて

反省点

多くの場面で、もっと細かなところまで確認をしておく必要性を感じた。

当日まで内容がよく把握できない状態での参加だったため、まさに「臨機応変」な対応が必要だったが、自分の咄嗟の判断力や対応力の未熟さを感じました。

自分の参加したオプショナルについて自分でももう少し調べておけばよかった。

LTお手伝いについて直前に指示を頂くが、

すぐに内容変更となり、なにをどう動いたらいいのかわからなく右往左往してしまいました。なにが起ころうともあわてず平常心をもって行動することができませんでした。

ナショナル委員会で作成したしおりですが、せつなり掲示したので、一般参加の方にもネットなり掲示なりを介して見ていただけたら良かったのかな、と思いました。

全国から集まった青年部の方にもっと積極的に話しかけ名刺交換をし、全国にお茶友達の輪を広げたかったです。

全国委員の方々のご苦勞を考え、LTとしての姿勢を考えるべき場面があった。

最終日の朝、集合時刻に全員が揃わなかったことは、代表幹事として責任を感じました。

相談事はできるだけ一元化し、質問に答えにくくされる方々に極力負担をかけないよう今にすること。

今日庵席でLT同士の意見が分かれた時、自分の判断で意見を言ってしまった。どちらが正しいのではなく意見が分かれた時、大切なのはご宗家ならどうするか、先生方ならどうするかを考えるべきだった。特に今日庵席は私たちが席ではなく、ご宗家のお席。私たちはお手伝いをさせていただいている身なので、まずは業跡先生にお伺いを立てるべきだったと猛省。

今日庵席の終礼にLT全員が揃えられなかった。失礼を承知で全員揃ってから、せめて業跡先生にだけでもお礼を伝えるべきだった。

その他

御家元が被り物をかぶるというおちゃめな姿に驚きました。写真を撮りたかったです。

東北の地、いわきの地をまた訪ねたいと思いました。

いわきでのナショナルコンファレンスというこのかけがえのない年に、LT出向員として参加できたことは、本当に幸せなことです。結果が強くたように思います。

青年部だけの大きな行事ということも



あり、地区大会とは全く違う若者たちの情熱をすごく感じました。男性も多かったのが親会とは違うなと感じました。ナショナル委員会の皆さんがLT共通のすてきな名刺やしおりをつくってくれたことで、ナショナルをより一層楽しみたいと迎えられました。

個人的なことですが、実行委員のなか知り合いがおりナショナルで2年ぶりの再会、懇親会で彼女のサポートすることできたのがうれしく思いました。

代表幹事がさまざまな部会の方々からのご要望伺いつつLT全体を取りまとめてくれたことでLT各自がお役目をしっかりと把握できたこと、皆が互いを思いやり臨機応変に行動できたことで、ナショナルでのお役目を皆が無事に全うできたと思います。

前泊組の人達の夕食会で感じましたが、夕食会と和んだ後の話し合いは普段より様々な意見が出たのではないかと思います。そのため、前泊などの夕食会の時間にも少し話し合いの時間を設けることができないかという思いも感じました。

いろいろなことがありましたが、うまくいったこともそうでないことも、すべてが貴重な経験でした。

三日間と半日？(前泊分)、それぞれ緊張や疲労で大変だったのに、最後まで楽しくナショナルを終えることができたのは、みんながいたからだと思う。

残り半分協力し合い乗り越えていきたいです。